

第2回山口県緩和ケアチーム研修会報告書

山口大学医学部附属病院
緩和ケアセンター事務局

開催概要

開催日時：令和元年8月24日（土）14：30～16：15

開催場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

主催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター

後援：山口県健康福祉部医療政策課

参加施設：国立病院機構岩国医療センター

山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

地域医療機能推進機構徳山中央病院

山口県立総合医療センター

国立病院機構山口宇部医療センター

山口県済生会下関総合病院

医誠会都志見病院

山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院

山口大学医学部附属病院

受講者数：44名（医師6名、公認心理師1名、看護師17名、薬剤師5名、
管理栄養士2名、MSW2名、理学療法士1名、保健師1名、
事務職員9名）

プログラム

開会挨拶 山口県健康福祉部医療政策課 主幹 松本 哲也

14：30～15：20 特別講演

「患者・家族の意思決定支援

～病院全体で取り組むアドバンス・ケア・プランニング（ACP）を通して～」

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター

サイコオンコロジー科／緩和ケアセンター 大島 彰先生

15：20～15：30 質疑応答

15：30～16：15 全体協議

閉会挨拶 山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 助教 山縣 裕史

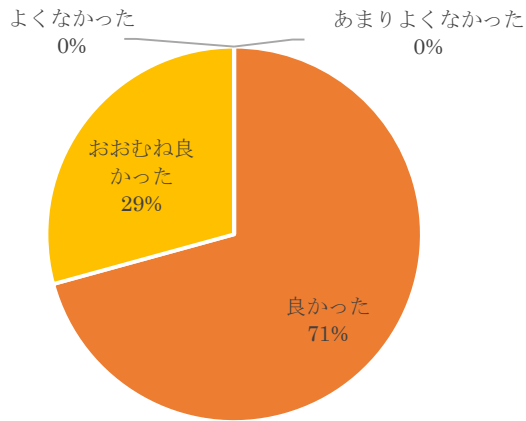
16：15 閉会

研修会の様子

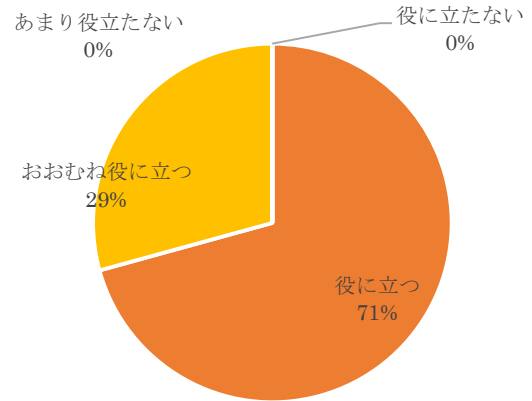


アンケート

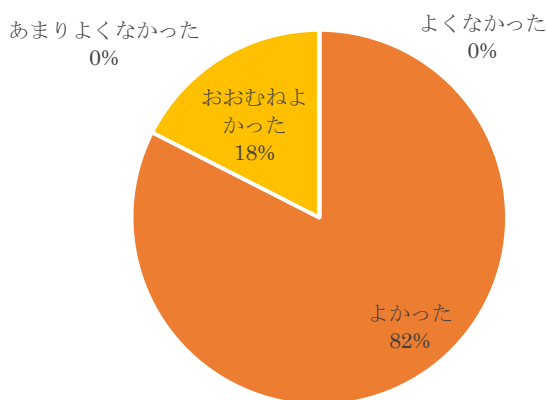
この研修会に参加してよかったですか？



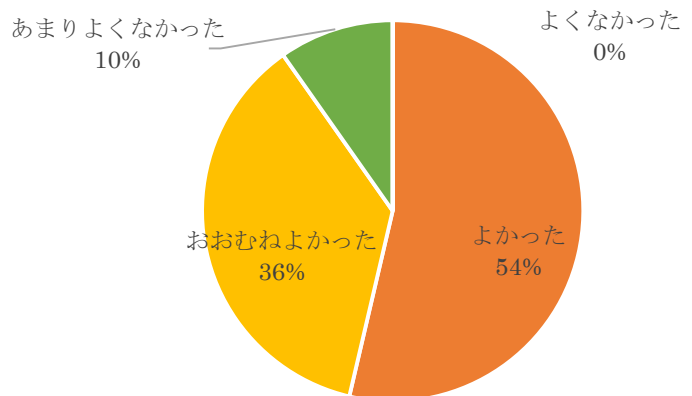
この研修会で得たことは今後の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟での活動に役立ちますか？



特別講演はいかがでしたか



「院内へのACPについての検討」はいかがでしたか？



緩和ケアチーム研修会で取り上げてほしいテーマや内容についてお聞かせください。

- ・緩和ケアチーム活動の評価方法について。
- ・ACPについてしばらく継続してはどうでしょうか。
- ・独居や医療処置のため自宅療養移行が困難な場合の取り組み。
- ・2回目のACPのテーマをふまえて、3回目の各施設の取り組みや活動について。
- ・緩和ケアチームと地域の関わり。
- ・患者・家族の声について、どのように取り組みをするのか、どのような内容で山口県内の医療機関が共有するのかを研修会で取り上げてほしい。
- ・オピオイドの最新知識について。
- ・トップの人（事務長・看護部長とか）にも参加していただいて「病院全体で取り組

む緩和ケア」みたいなものをして欲しい。

緩和ケアチーム研修会のご感想や、ご要望についてお聞かせください。

- ・ ACP普及に向けてすぐに活動できる示唆を得ることができました。
- ・ 時間配分について（開始時間について）
- ・ 院内の医療従事者や患者・家族が影響をうけるようなものを山口県で作成し、各医療機関に周知するようにされてはいかがでしょうか（パンフレットやポスター等）。本日は、特別講演をされた大島先生、この研修会でご尽力をいただいた山縣先生、貴重なお時間をいただきありがとうございました。大変勉強になりました。
- ・ ACPについて漠然としていたのでどのように始めていけたらいいかの方向性を知ることができた。また、ACPという言葉だけが先行している状態であるが、普段から行っている事であることが一番心に残った。
- ・ 来年も午後のみでやってほしいです。
- ・ ACPについてこれから考えていきたい。
- ・ ACPについて病院でどのように普及するのかチームで話し合いを行い進めて行けたらと思います。
- ・ とても勉強になりました。当院の対応も今後検討していく必要性を感じた。
- ・ 少し時間が足りない。
- ・ 当院でもACPの記録用紙、記録方法を検討中だったのでとても参考になった。
- ・ 時間が少し短かったので、十分検討が出来なかった。情報共有・検討の時間がもう少し欲しかった。
- ・ これから取り組んでいけないといけないことについて少し理解ができたと思います。